

# 一 般 質 問 通 告 書

令和3年 5月 25日

前  
午 9時 16分 受付  
後



下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和3年5月25日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 荻野利明



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	「GIGA スクール構想」で、児童・生徒が、端末を破損、紛失した場合の負担は。
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	「GIGA スクール構想」で、児童・生徒が、端末を破損、紛失した場合の負担は。
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>「GIGA」スクール構想において、すべての児童生徒に端末が渡されるが、保護者からは、端末を破損したり、紛失した場合だれが負担するのか心配する声が聞かれる。</p> <p>全国でも、保護者に一切負担を求めないところや、一部負担を求めるところなどあるようです。</p> <p>湖西市教育委員会はどう対応するのか伺いたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>児童・生徒に端末を持たせ、破損・紛失したら親の責任では、たまったものではありません。子どものやることです。子どものやることですから、どんなことが起きるかわかりません。親への負担は絶対求めないことが必要と考えます。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校内での破損・紛失について、どう対応するのか。</li> <li>2. 学校外での破損・紛失について、どう対応するのか。</li> <li>3. 親に負担を求めても、生活苦などから、「負担できない」と言われたらどうするのか。</li> </ol>	

# 一 般 質 問 通 告 書

令和3年 5月 25日

前  
午9時 18分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和3年 5月 25日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 加藤治司



質問方式 (○を付ける)	一問一答	一括の質問答弁
番号	主 題	
1	湖西市立地適正化計画について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市立地適正化計画について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>令和3年4月から第6次湖西市総合計画が開始されたが、同時に開始された湖西市立地適正化計画は、従来の湖西市都市計画マスタープランを基本にし、急激な人口減少と高齢化及び厳しい財政状況の対策として「コンパクトシティ・プラス・公共交通ネットワーク」の考え方を取り入れた街づくりを進める事が目的となっている、我々湖西市民にとって将来の暮らしに大きな影響を及ぼす重要な計画である。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>湖西市都市計画マスタープランと立地適正化計画の関連性、及び新居町駅周辺は津波による浸水想定区域のため都市機能・居住誘導区域に含めないとあるが、その対策の有無等を確認する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1頁目の計画の概要では、これまでの行政主導によるインフラ整備や高度成長時代の土地開発利用から方向転換し、人口減少下、都市機能増進施設への財政・税制等の支援により、都市機能や居住立地の適正化(コンパクト化)を図るとあるが、都市計画マスタープランの大きな軌道修正であり、市民に説明し理解は得られているか。</li> <li>2. 新居町駅周辺は浸水想定区域のため、都市機能・居住誘導区域に含めないとあるが、市民の理解は得られているか。居住を継続する市民の為に、浸水想定区域周辺に都市機能増進施設を誘導は可能か。</li> <li>3. 新居町駅周辺の文化公園西側にスーパーマーケットを核とした複合商業施設が令和4年末に開業予定である。予定地は浸水想定区域にあり、プロポーザル参加申し込みの段階で事業者の提案内容に災害時協定の締結が含まれていたと聞く。        どのような条件を満たせば、今後も都市機能誘導施設を同地区に設置することが可能か。</li> <li>4. 立地適正化計画に伴う津波シミュレーションで、概算70億円の二線堤建設により、基準水位が2メートル以上となる浸水面積が45.8%減少する結果がでた。湖西市として、他市の静岡モデルを参考にして防潮堤整備をどのように検討するのか伺う。</li> </ol> <p style="text-align: right;">以上</p>	

# 一 般 質 問 通 告 書

令和3年 5月 26日

前  
午9時 57分 受付  
後



下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和3年5月26日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 佐原佳美



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	ヤングケアラーの支援について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	ヤングケアラーの支援について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>今年の4月、公明党は、コロナ禍においてDVや低年齢者と女性の自殺者が増加しているところから、社会的孤独・孤立の調査を全国的に実施しました。私は市内の地域包括支援センター、障がい者支援施設、健康福祉部各課、民生委員さん等27人にアンケート調査をさせて頂き、孤立化の懸念があるとして多くの方から挙げられてきたのが「8050問題」といわれる80代の親と50代の引きこもり状態の子ども世帯でした。親亡き後の50代、60代の不就業の子どもの生活に関わる機関が市内に無いことでした。この問題については、かつて私が一般質問しましたが、数年たった現在も変わっていませんでした。</p> <p>そして、更にショックな事例として挙げられていたのが、不在がちな親に代わり上の子が幼稚園児の弟妹の世話をしている家庭でした。</p> <p>数年前から教育新聞などで目にしていた「ヤングケアラー」が湖西市にもいたのでした。</p> <p>「ヤングケアラー」とは、家庭で両親や祖父母、きょうだいの世話や介護をしている「子ども」のことです。年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の育ちや教育に影響があるといった課題がありますが、家庭内のデリケートな問題で友達に知られたくない、本人や家族に課題の自覚がないことなどから支援が必要であっても表面化しにくく、子どもであるがゆえに支援制度を知らないで地域や友達から孤立していく状況にあります。</p> <p>厚生労働省と文部科学省は、プロジェクトチームを立ち上げ昨年の12月から今年の1月にかけて初めての実態調査を行いました。</p> <p>公立中学校1000校と全日制高校350校の2年生にインターネットでアンケートを実施し約1万3000人から回答を得て、4月12日に公表された調査結果は、</p> <p>「世話をしている家族がいる」との生徒の割合は、中学生が5.7%でおおよそ17人に1人、全日制高校の生徒が4.1%でおおよそ24人に1人でした。その中には「世話をしているが自分のやりたいことへの影響は特にない」との回答が半数いる一方で「ほぼ毎日家族の世話をしている」中高生は5割弱、一日平均7時間以上している子が約1割で、世話の対象の家族は「きょうだい」が最多で中学生で6割、高校生で4割ということで、子どもらしい暮らしができずに辛い思いを</p>	

しているヤングケアラーに、勉強や睡眠の時間、友達と遊ぶ時間を確保し青春を満喫できる環境を大人が早期に整備しなくてはならないと思いました。

(質問の目的)

ヤングケアラーを早期発見・把握し、子どもらしい生活が送れるような福祉・介護・医療・教育機関の連携による支援策を早期に確立して欲しい。

(質問事項)

1. ヤングケアラーの現状はどの様に把握されているか。
2. 小中学校教職員のヤングケアラーの認知度は如何か。
3. スクールソーシャルワーカーを増員し、児童生徒の相談支援体制を拡充しては如何か。
4. 健康福祉部に令和4年度設置予定の「子ども家庭総合支援拠点」の支援内容にヤングケアラーも含め多機関連携支援の拠点として機能して欲しいが如何か。
5. 教職員はじめヤングケアラーが担っているケアの支援に関わる機関のヤングケアラーに関する研修を実施しては如何か。
6. 2022年度から2024年度までの3年間でヤングケアラーの社会的認知度向上の集中取組期間と国が定めたが、取り組む計画は。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一 般 質 問 通 告 書

令和3年5月26日

前  
午10時44分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和3年 5月 26日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 三上 元



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西で暮らそう、その財源について。
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照



番号	主 題
1	湖西で暮らそう、その財源について。
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市には働く場所があり、昼の人口が夜よりも多い。そこで他市よりも「住みやすい何か」を具体的に提案すれば、もっと住んでくれるのではないかと考えます。市長も同じ思いで「湖西で暮らそう」の3ページで「湖西で暮らすといいコトたくさんついてきます」と書いているのだろうと感じました。</p> <p>そして当市は次のような制度を有しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) わ〜くわく「こさい」で新生活！奨学金返還支援補助金</li> <li>(2) 新婚さん「こさい」へおいでん新生活応援金</li> <li>(3) 住もっか「こさい」定住促進奨励金</li> <li>(4) 移住就業支援補助金</li> <li>(5) 高校生までの子ども医療費の助成</li> <li>(6) 湖西市開業パワーアップ支援金利子補給制度</li> </ul> <p>しかし、わずかな効果しか感じられない。もっと注目される策が必要な気がします。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>やはり財源が確保されなければ、大胆な策を打ち出せないのもので、そのための基金（仮称：住みたい湖西市にするための基金）を新設してはどうであろう、と考えるに至ったので、この考え方を検討に価すると思うか否かについて質問します。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 今年4月9日、中日新聞に、磐田市政の課題と題して「子育てするなら磐田、のキャッチコピーの下で2012年の児童福祉費69億円であったものを、2021年度は112億円の膨らめた。しかし出生数は減少を続けている。・・・」と書かれている。</p> <p>こども医療費も高校生までは500円の自己負担だけに2018年10月から拡充したとのこと。</p>	

湖西市も努力しているが、他市でも努力して自分の市の魅力向上に努力していることがわかる。そこで質問です。

「湖西市に住んでよかった」と思ってもらうには今程度の制度で十分だとお考えか、いやもっと強い何かを打ち出したい、と思っているのかをお聞きしたい。

2. 当市は財政力指数が1.0を超えています。そのゆとり部分のすべてをここ、すなわち「湖西市の魅力表現するため」に投入してはどうでしょうか。

まず財政力指数の算出から除外されている2つの財源「競艇企業団からの収入」と「ふるさと納税の実質差益」です。

さらに、財政力指数で「1.0を超えている金額」もこの基金に投入する。

この3つをまず「住みたい湖西市にするための基金」に入れます。そして毎年、その基金残高をながめて、衆知を結集して、使い道を決める、という考え方です。

万一の災害などへの備えは財政調整基金が存在していますので、この新設の基金は湖西市の魅力打ち出すモノにだけ投入するという提案です。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること